

|                    |
|--------------------|
| 和歌山県 話題事項          |
| 令和 7 年 1 0 月 1 4 日 |
| 資料提供済              |
| 令和 7 年 9 月 1 9 日   |

知らないオドロキが色々々々



## 「世界津波の日」制定 1 0 周年記念事業の開催について

「稲むらの火」の逸話に由来し、1 1 月 5 日が「世界津波の日」に制定されてから今年で 1 0 周年を迎えます。近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震などによる津波に備え、いざというときに命を守るために津波から逃げることの重要性を発信し、ひとりひとりが自らの命を守る判断と行動力を高めることを目的として、下記のとおり「世界津波の日」制定 1 0 周年記念事業を開催します。

### 記

#### <稲むらの火に学ぶ！現地体験ツアー>

◆日 時：令和 7 年 1 0 月 2 5 日（土） 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0

◆場 所：稲むらの火の館（広川町広 6 7 1）ほか

◆参加料：無料

◆参加方法：事前申込制（先着 8 0 名）

【申込期間：9 月 2 2 日（月）～ 1 0 月 2 0 日（月）】

#### <「世界津波の日」制定 1 0 周年記念シンポジウム>

◆日 時：令和 7 年 1 1 月 2 1 日（金） 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 4 0

◆場 所：和歌山県民文化会館 小ホール（和歌山市小松原通一丁目 1 番地）

◆参加料：無料

◆参加方法：事前申込制（先着 3 0 0 名）

【申込期間：9 月 2 2 日（月）～ 1 0 月 3 1 日（金）】

※詳細は別紙チラシを御確認ください。

（連絡先）

危機管理部 危機管理局 危機管理消防課 政策計画班

担 当：外村（とむら）、宮永

電 話：0 7 3 - 4 4 1 - 2 2 7 3 （内線 4008・4005）

# 「世界津波の日」制定10周年記念



## 稲むらの火に学ぶ！ 現地体験ツアー

日 時 令和7年10月25日(土)  
〔受付〕 13時00分 〔開始〕 13時30分  
場 所 稲むらの火の館  
定 員 80名(最大100名)  
申 込 電話・WEB  
申込期間 9月22日(月)～10月20日(月)まで

入場  
無料

### プログラム

- 13:30 講演「梧陵の心を伝えます ～防災の原点がここにある～」  
広川町日本遺産ガイドの会 語り部 熊野 享(くまの とおる)  
(稲むらの火の館ガイドンス講師)
- 14:20 体験ツアー  
①稲むらの火の館 館内見学、3Dシアター  
②広村堤防、耐久社、濱口梧陵銅像(フィールドワーク)  
※雨天の場合、②のフィールドワークは中止
- 16:00 終了

### 申し込み方法

#### 電話

県危機管理消防課あて電話にてお申し込みください。

〔電話〕  
073-441-2273

#### WEB

下記の申し込みフォームより、お申し込みください。

<https://logoform.jp/form/WEVN/1141474>



### 知っていますか？ 世界津波の日

世界津波の日は、平成27年の国連総会本会議で日本をはじめ、142か国が共同で提案し採択されました。

また、11月5日が「世界津波の日」に指定されたのは、安政元年11月5日の安政南海地震による津波が現在の和歌山県広川町を襲った際に、稲むらに火をつけることで住民を避難させ、命を救った濱口梧陵の「稲むらの火」の逸話に由来しています。



濱口梧陵

主催 和歌山県・広川町  
後援 和歌山県教育委員会



WORLD TSUNAMI  
AWARENESS DAY  
5 NOVEMBER



## 稲むらの火の館

梧陵の功績や稲むらの火の物語、津波防災の歩みなどを紹介する施設

梧陵の生家である濱口梧陵記念館と津波災害から大切な生命や暮らしを守ることを学ぶことができる津波防災教育センターがある



## 広村堤防

安政南海地震の後に梧陵が私財を投じて建設した高さ5m、幅20m、長さ600mの堤防で、昭和南海地震の津波から住民を守った

被災住民を雇用して建設しており、まちの復興にも貢献した



## 耐久社

梧陵らが開いた剣術や国学などを教える稽古場で、永続を願って「耐久社」と名づけられた

梧陵の没後も教育への熱意は受け継がれ、現在の町立耐久中学校、県立耐久高等学校へとつながっている



## 濱口梧陵銅像

梧陵の偉業を讃えて昭和42年に建立された銅像

生誕100年にあたる大正9年に旧和歌山県会議事堂前に建立された銅像は、戦争により供出を強いられたため、町民の寄付金などで再建された



〔お問合せ先〕 和歌山県危機管理消防課

電話 073-441-2273 ファックス 073-422-7652

# 「世界津波の日」制定10周年記念シンポジウム



## 「津波から逃げろ！」

## 次世代への伝承を和歌山から

日 時 令和7年11月21日(金)  
〔開場〕 13時00分 〔開会〕 13時30分  
場 所 和歌山県民文化会館 小ホール  
定 員 300名  
申 込 電話・WEB  
申込期間 9月22日(月) ~ 10月31日(金)まで

入場  
無料

申し込み方法の詳細については、裏面をご覧ください

### プログラム

- 13:30 オープニング  
13:45 映像作品 上映  
14:05 基調講演 『「稲むらの火」に学ぶ、命を守るタイムリミット』  
濱口 和久 拓殖大学特任教授・防災教育研究センター長  
15:10 パネルディスカッション  
コーディネーター 濱口 和久 拓殖大学特任教授・防災教育研究センター長
- パネラー
- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 矢守 克也 | 京都大学防災研究所・教授(副所長)             |
| 伊森 安美 | 2018世界津波の日in和歌山<br>高校生サミット 議長 |
| 雑賀 聡  | 稲むらの火の館 館長                    |
| 中村 吉良 | 和歌山県 危機管理部長                   |
- 16:35 閉会のあいさつ  
16:40 閉会



### 知っていますか？ 世界津波の日

世界津波の日は、平成27年の国連総会本会議で日本をはじめ、142か国が共同で提案し採択されました。

また、11月5日が「世界津波の日」に指定されたのは、安政元年11月5日の安政南海地震による津波が現在の和歌山県広川町を襲った際に、稲むらに火をつけることで住民を避難させ、命を救った濱口梧陵の「稲むらの火」の逸話に由来しています。



濱口梧陵

主催 和歌山県・広川町

後援 和歌山県教育委員会



WORLD TSUNAMI  
AWARENESS DAY  
5 NOVEMBER

# 申し込み方法

## 電話

県危機管理消防課あて電話にてお申し込みください。  
※手話通訳・要約筆記が必要な場合はお伝えください。  
【電話】  
073-441-2273

## WEB

下記の申し込みフォームより、お申し込みください。

<https://logoform.jp/form/WEVN/1172885>



## 登壇者のご紹介

**濱口 和久** -はまぐち かずひさ-

拓殖大学特任教授・防災教育研究センター長

### 【紹介文】

防衛大学校卒、名古屋大学大学院環境学研究科博士課程単位取得満期退学、陸上自衛隊、栃木市首席政策監などを経て、現職の他に日本大学、多摩大学、関西大学、麗澤大学でも教鞭をとる。  
一般財団法人防災教育推進協会理事長、稲むらの火の館（濱口梧陵記念館・津波防災教育センター）特別研究員、国立研究開発法人防災科学技術研究所客員研究員、和歌県白浜町防災アドバイザーなどを務める。  
日本危機管理学会「学術貢献賞」を受賞



**矢守 克也** -やもり かつや-

京都大学防災研究所・教授(副所長)

### 【紹介文】

京都大学防災研究所・教授(副所長)。博士(人間科学)。専門は防災心理学。現在、地区防災計画学会会長、災害情報学会副会長などをつとめる。行政関係では、内閣官房「防災庁」設置準備アドバイザー会議委員、和歌山県地震・津波被害想定検討委員会委員などをつとめる。  
「防災功労者内閣総理大臣表彰」(2024年)などを受賞。「避難学」、「防災心理学入門」など著書も多数。NHK総合「明日をまもるナビ」に定期的に出演するなど、マスメディアでの活動も多数



**伊森 安美** -いもり あみ-

2018世界津波の日in和歌山高校生サミット議長

### 【紹介文】

串本古座高校在学中に、世界津波の日2017高校生島サミットin沖縄に参加。そこで世界中の人達と議論を交わし、より多くの命を災害から守りたいと思い、若者の力で世界に防災を発信していきたいという思いから、2018年に開催された世界津波の日高校生サミットin和歌山で高校生議長に就任。2021年には内閣官房国土強靱化担当大臣との座談会に参加。大学在学中には、地元串本町と白浜町における「観光客に対する防災活動」に係る研究を行う。



**雑賀 聰** -さいか さとし-

稲むらの火の館 館長

### 【紹介文】

龍谷大学文学部卒業後、公立小中学校教諭として教鞭をとる。  
平成16年から平成24年の間、全国小学校英語活動実践研究会(現全国小学校英語教育実践研究会)常任理事就任。  
平成15年より善照寺第13世住職を務める。  
平成25年9月より稲むらの火の館ガイダンス講師として濱口梧陵の功績等の普及啓発活動を行い、令和7年4月から現職



**中村 吉良** -なかむら よしろう-

和歌山県危機管理部 部長

### 【紹介文】

平成元年4月和歌山県庁入庁  
平成27年世界津波の日制定当時、危機管理・消防課総務計画班長(現危機管理消防課政策計画班長)として関連事務に携わる。  
令和7年4月から現職



## 稲むらの火の館

2007年4月和歌山県  
広川町に開館した濱口梧  
陵の生家などからなる施  
設です。

濱口梧陵の人命尊重の  
精神や復興への取組を後  
世に伝承するとともに、  
津波災害に関して学ぶこ  
とができます。



【お問合せ先】 和歌山県危機管理消防課

電 話 073-441-2273 ファックス 073-422-7652